

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018 年	4 月	29 日	記入者	水間充
調査者名	亀田	久門	鈴木	中川	水間

調査対象先	教行寺(真宗大谷派)				
所在地	北葛城郡広陵町萱野652			電話番号	0745-56-2031
代表者 調査対応者	富田 英見住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 2 棟	国宝:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他(平成10年の台風で本堂が傾き、巨費を投じて改修実施するも、抜本的な対策はできていない。)	
	今後の予定	江戸前期建立の県指定文化財の本堂・書院等広大で、都度必要箇所対策を考えているが、現在具体的な計画はない。	
	要望	特にない。	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	寺域内には約100カ所に火災感知機を設けている。感知すれば庫裏に設置した火災受信機が作動する。各所に火災報知機、消火器も設置している。	
	今後の予定	1653(承応2)年に当地で建立。以来大きな火災等はなく、今のところこれ以上の計画はない。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	教行寺(真宗大谷派)
-------	------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	ミツバチが本堂床下に2度巣を作ったがその後絶滅。被害等特にない。

江戸前期、1656年創建の県指定の本堂



県指定の対面所



県指定の書院(対面所と同じ棟)



各所に設置された火災報知機と消火器格納箱



庫裏に設置の火災受信機



【調査票記入者(水間充)の感想】

本願寺八世蓮如上人の開基で、「箸尾御坊」として門前町を形成した。寺域内約100カ所に火災感知器を設ける大寺院で、各種災害対策の重要性を再認識させられる。壮大な本堂であるが、それ故、耐震補強等課題が残る。